

# ビューティフルブックスタンド～木と向き合う～

食料環境科 3年木工製作班

遠藤 菅野 齋藤 佐々木

## 去年の成果

去年、私達は木工技術と木に対する知識の取得することを目的とし、その目的のために私たちは木を使い一から自分たちで椅子を作っていました。椅子づくりの活動を通し私たちは少しながらではありますが、木工技術、それぞれの木材の特徴性質を知ることができました。



## 選定理由

私たちが去年まで主としていた活動は椅子づくりでしたが、その活動には一つだけ欠点がありました。椅子を作るという活動自体に問題はありませんが、作った椅子を保管しておける場所、活用できる場所がなかったのです。そこで私たちは、これまでいす作りをメインに活動していましたが、この活動を変更することにしました。しかし、自分たちで作り、かつその作品を活用してもらえるものとして何があるのか、という疑問を解決するまでに時間がかかってしまいました。

最終的に、図書館で利用できるブックスタンドを作ることで決定しました。

## 到達目標

去年の活動に引き続き

- ・木の特徴や利用などを調べ、木工制作に繋げる木工技術を向上させ、取得すること。

そして今年から

- ・活用してもらえる木工製品を作る。
- ・設計図の読み取りや寸法においてミスをなくす。

このことを目標に活動してきました。

## 実施計画

今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、昨年のように余裕を持った活動時間が少ない中ではありましたが、何とか材料調達ができ、十月までにはいくつかのブックスタンドを完成させられる計画を立てることができました。

## 実施結果

図書室では、ブックスタンドの多くがプラスチック製やワイヤー製があります。しかし、紹介したい本が置きたいが、ブックスタンドの数が足りませんでした。そこで私たちは、椅子製作で培った経験や知識を用いて木工製のブックスタンドを作ろうと思いました。



最初はブックスタンドのイメージや図面が必要でしたので、インターネットを用いて検討しました。しかし残念ながらイメージが掴むことはできましたが、図面がなく図書室からカタログをお借りし、ブックスタンドの大小のサイズをメモし、まずは制作しました。制作にあたり道具などは演劇部や土質実験室からお借りしました。工夫した点として、ブックスタンドを立てかける部分が、どのくらい開ければ見やすい角度になるかを試行錯誤しました。また、木材をそのまま使用することはできますが、棘があり手触りがザラザラして危ないため、ヤスリ掛けをすることは大切な作業の一つです。

試作品を図書室の司書の先生に持っていき確認をしてもらい、OKをいただいたので本格的に制作を開始しました。ブックスタンドを大小5つずつ制作し、図書室にお渡ししました。

次に私たちはオリジナルデザインで作品を作ることにしました。グループのメンバーの一人から本棚がほしいという要望があったので、作ることにしました。限られた材料で作るのが難しかったです。また、図書の先生からシリーズものの本を並べて置けるブックスタンドを作ってほしいと要望があり、作ることにしました。今回は今までのものとは違い複数の本を置く必要があったので、今までの図面を改良して作りました。

工夫したところは

- 本の立てやすい角度にした
- 手に木が刺さらないようにやすりを使用し、丁寧にかけた
- ブックスタンドが簡単に倒れないようにするために紐をつけた
- ネジで打てないところを釘にした
- シリーズ本が置けるように自分たちでデザインした



## まとめ

### <良かった点>

一つの作品ではなく沢山の作品をみんなで作ることができたこと。

できないことは班員全員で考え作品完成をできたこと。

### <反省点>

サイズミスがあり、木材を無駄にしたことが何回かあったこと。



## 感想

- ・椅子を製作して得た技術を活かし、みんなで協力してできたことがとてもよかった
- ・去年までは一つの作品を製作していたが今年は多くの作品をみんなと作ることができてよかった
- ・さまざま悩む場面が多かったが、みんなと乗り越えられた
- ・学校で使ってもらえるほどの作品をみんなと製作できたので良かった

